



奈良県議会議員 川口正志様



高取町長 植村家忠様



明日香村長 森川裕一様



記念講演 嶋聡様



記念講演 嶋聡様

昨年 11/29 (土) 高取町リベルテホールにおきまして、県政報告会を開催させていただきました。始めにご来賓の皆様のご挨拶を賜り、嶋聡さんの記念講演「大風呂敷経営進化論」のあと、山本のぶあきが県政報告をさせていただきました。スクリーンを使つての県政報告に皆様が熱心に耳を傾けてくださいました。



記念講演

大風呂敷経営進化論



後援会の幹事の皆さんと一緒に

ソフトバンク株式会社 顧問
嶋 聡 (しま・さとし) 氏

(講師略歴)
1958 年生まれ。松下政経塾2期生。
1996 年より衆議院議員 (3 期 9 年)。
2005 年よりソフトバンク株式会社 社長室長。
2014 年 4 月よりソフトバンク株式会社 顧問。
「孫正義の懐刀」「参謀」などと呼ばれる。
東洋大学非常勤講師。
嶋聡公式ウェブサイト <http://simasato.net/>

(なら元気クラブ)

山本のぶあき

平成 26 年 12 月議会

12 月 8 日一般質問



1. 若者の雇用対策について

若者が奈良で安定した仕事に就き、安心して働くことができるよう、若者の離職防止や、離職後の早期再就職への支援を今後どのように展開されるのか知事の所見を伺いたい。

答 弁
知 事

本年度から育児休業給付金に上乗せして賃金等を支給する事業所への助成。職場内研修の充実やテレワークの導入、産休・育休取得推進など、企業の処遇改善にむけたコンサルティングの実施。多くの若者が県内で安心して働き、暮らし続けられることが、将来の奈良の活力を維持させ、少子化対策にも繋がるものであり、今後も若者の就労支援を積極的に推進。

2. 障害のある人の意思疎通の支援について

障害のある人の意思疎通の支援について、今後どのように取り組もうとしているのか伺いたい。

答 弁
健康福祉部長

「奈良県聴覚障害者支援センター」を設置し、手話通訳者や要約筆者等の養成研修の実施やスキルアップにも取り組んでいる。「まほろば『あいサポート運動』」の普及・拡大にも取り組んでいる。障害者団体の要望等を踏まえながら、多様な障害の特性に応じた意思疎通支援の推進に取り組んでまいります。

3. 国道 169 号高取バイパスについて

国道 169 号高取バイパスの現在の進捗状況及び今後の整備の見通しについて伺いたい。

答 弁
国土建設部長

平成 10 年度に、高取町兵庫～清水谷の間、約 3.4 km の事業に着手。平成 24 年 4 月に北側の 1.5 km 完成。現在は、残る約 2 km 区間で事業を進め、供用した区間から約 0.6 km 間は本年 11 月に松山高架橋が完成。(仮称) 清水谷トンネルの工事着手を目指して今、必要となる用地の取得を進めている。

4. 県営住宅における今後の取組について

県営住宅の供給やできる限り県営住宅を長く使い続けられるようにするための取組について、現在どのような課題があり、今後どのように取り組もうとしているのか伺いたい。

答 弁
まちづくり推進局長

住宅に困窮されている方への低所得者対策としての住宅供給は必要。少子・高齢化は、公営住宅に顕著に現れており、高齢者も安全安心に暮らせる住環境の確保が課題。よって今後の県営住宅の建て替えにあたっては、サービス施設の誘致など、まちづくりの視点に立った取組が必要。県営住宅を長く使い続けるための取組については、高齢者をはじめとした様々な方の居住ニーズに適切に応えられるよう、中層住宅におけるエレベーター設置の検討などを行っていく。

5. 平成 27 年度全国高校総体の開催について

来年度のインターハイ開催に向けた現在の取組状況について伺いたい。また、インターハイ開催が本県の高校生にとってどのような意義があると考えているのか、併せて伺いたい。

答 弁
健康福祉部長

インターハイを開催する本県独自のねらいとして、大会開催をスポーツによる一層の地域振興へと繋げ、活力ある地域づくりの契機とすること。県内高校生の力を結集して大会を支えるために、6 月に結成した高校生活動「わっしょい優」リーダー会が、会場地町村を訪問し、夏休み PR キャンペーンを展開するとともに、11 月の PR イベントの進行役としても活躍。インターハイは、スポーツを行う高校生にとって憧れの夢舞台であるだけでなく、大会を支える多くの高校生にとっても、社会性の向上はもとより、地域や社会に貢献しようとする態度を育むうえで大きな教育的意義がある。